



学校体育通信 「やまぐちっ子元気維新」

令和3年度 第3号 山口県教育庁学校安全・体育課 学校体育班

東京2020オリンピック・パラリンピック終了！

2学期がはじまり、朝夕はずいぶん涼しくなってきました。児童生徒のみなさんは、勉強やスポーツにがんばっていることでしょうね。

さて、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が終了しました。各国の選手がひたむきにがんばる姿は、世界中に感動を与えました。出場した選手は、この大会に向けてたくさんの努力をされてきたと思います。みんなキラキラと輝いていました。私たちががんばろうと勇気をもらったような気がします。みなさんは、どんなことが心に残りましたか？



選手の発言の一部を紹介します



東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会公式ホームページから一部抜粋インタビューの他にも様々なニュースや画像を見ることができます。ここからチェック↑



陸上競技
女子マラソンT12 金メダル
道下 美里 選手
山口県下関市出身

「仲間がいれば、可能性は無限大!!」

柔道男子
73キロ級 金メダル
大野 将平 選手
山口県山口市出身

「今回改めて自分自身はもっと強くなれると思えた。」





車いすテニス
男子シングルス 金メダル
くにえだ しんご
国枝 慎吾 選手
「オレは最強。重圧があったからこそ、できたあのパフォーマンス」

スケートボード
女子ストリート 金メダル
にしや もみじ
西矢 栞 選手
「スケートボードは世界のいろいろな人と仲良くなれて、すごく楽しい競技」



ここでオリパラクイズに挑戦！



Q 男子マラソンのゴール直前の選手は、なぜ手をふっていたのでしょうか？



右 2位：ナゲーエ選手（オランダ）
左 3位：アブディ選手（ベルギー）

- ① 先にゴールしたいので、コースをふさぐため
- ② 足が痛くなったので先に行かせようとしたため
- ③ 3位の選手がつらそうだったので、応えんするため



答え ③ 3位の選手がつらそうだったので、応えんするため
•二人は、内戦下のソマリア出身。祖国を離れて、難民として別々の国から出場しましたが、同じ国出身の選手として、固いきずなで結ばれていました。